

週間漁海況情報—第32号

平成23年8月8日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H23.8.8）を示した。

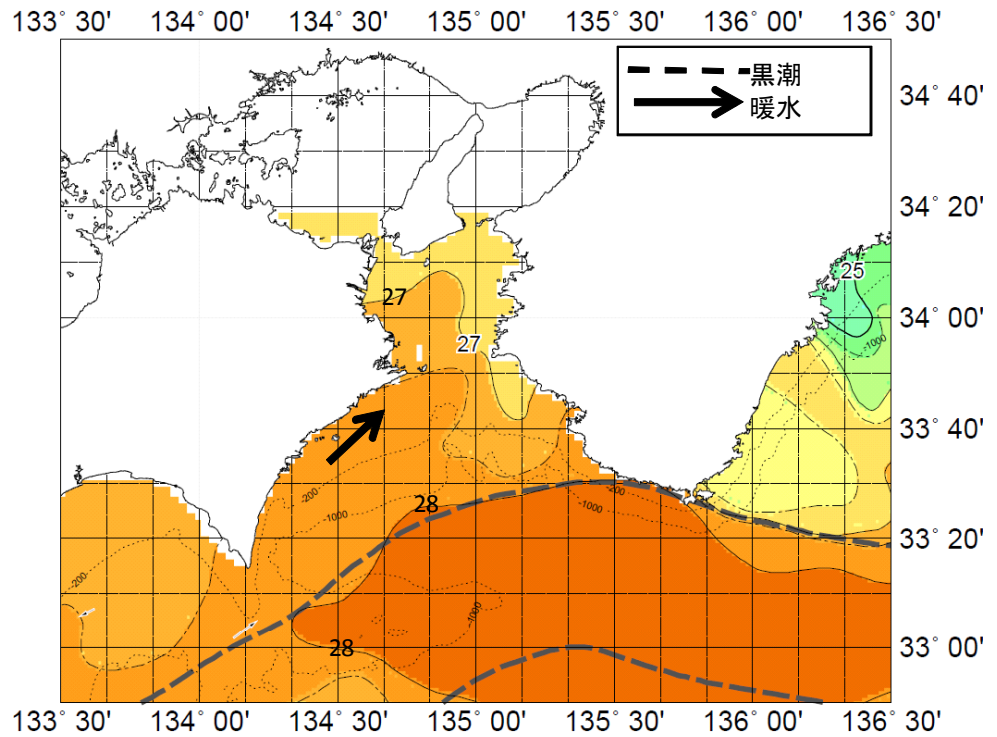
黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖、足摺岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、27～28℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で25℃台、紀伊水道で26～27℃台、海部沿岸で26～27℃台である。

紀伊水道外域では、黒潮が

小蛇行した影響を受け高知県側から黒潮系の暖水が流入しており、海部沿岸では上り潮になっている。また、和歌山県側で内海系水が紀伊水道外域に南下している。

漁業調査船「とくしま」が8月2日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層、10m、30m層で「平年並み」の23.0～26.1℃、20m層で「やや高め」の24.3℃であった。



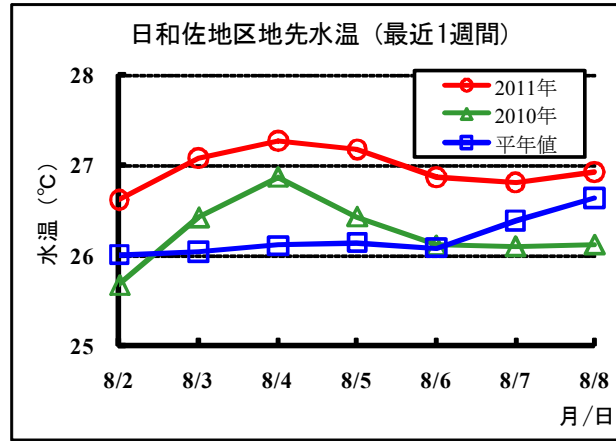
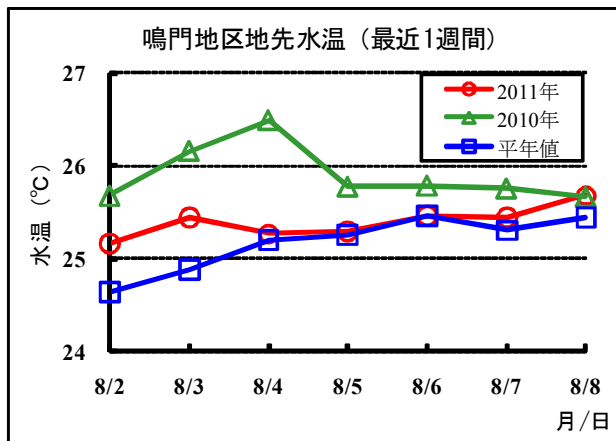
播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
8/2	今年値	26.1	24.9	24.3	23.0	31.1	31.2	31.4	31.5
	平年偏差	-0.1	0.3	0.5	0.0	-0.3	-0.4	-0.4	-0.4
	前年偏差	-0.3	0.1	0.5	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の25.2～25.7℃、日和佐地区で「平年並み」～「やや高め」の26.6～27.3℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の26.3～28.2℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 海況の経過

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが1.7トン（1日1隻当たり64kg）、カタクチイワシが0.3トン（同34kg）、小小主体にカマス類が0.6トン（同21kg）、ゴマサバが0.3トン（同17kg）、小主体にマアジが2.1トン（同82kg）、マイワシが1.9トン（同83kg）、マルアジが0.2トン（同79kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大主体にゴマサバが0.5トン（同19kg）、マルソウダが3.9トン（同21kg）、活主体にヨコワが0.5トン（同2kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 8月1日～8月7日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	ウルメイワシ	27	1,716	64	
		カタクチイワシ	8	273	34	
		カマス類	27	568	21	小小主体
		ゴマサバ	18	301	17	
		マアジ	26	2,140	82	小主体
		マイワシ	23	1,908	83	
		マルアジ	3	236	79	
釣り	海部沿岸	ゴマサバ	25	476	19	大主体
		マルソウダ	184	3,934	21	
		ヨコワ	355	544	2	活主体

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」～「やや高め」の25～26℃台、日和佐地先は「平年並み」～「やや高め」の26～27℃台前半で推移する見込み。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年8月2～8日の海部沿岸では、延縄でゴマサバ0.3トン、小型定置網でウルメイワシ1.9トン、カタクチイワシ0.4トン、小小主体にカマス類2.3トン、ヒラソウダ0.4トン、小主体にマアジ1.1トン、ゴマサバ2.7トン、マルソウダ2.3トン、釣りでヨコワ0.7トンが水揚げされていた。紀伊水道では、パッチ網でシラス52.8トンが水揚げされていた。